

隋

- 皇帝 煬帝の実像に迫る -

定員・回数：60人・3回
時間・場所：午後2:00～3:30・研修室
費用：受講料 600円
講師：愛知学院大学 文学部 教授 松下憲一

漢王朝滅亡後、南北に分裂を重ねた中国は、激動の乱世・魏晋南北朝時代を経て、隋によって270年ぶりに国内が統一されました。隋は、どのようにして南北の統一をはかったのでしょうか。また、聖徳太子が派遣した遣隋使の国書で有名な第2代皇帝・煬帝(ようだい)は暴君の代名詞となっていますが、その実態はどうだったのでしょうか。大運河の建設、高句麗遠征の失敗、倭の国書に激怒したエピソードなどの真相に迫ります。

11/ 2(土)	隋の建国 隋は581年に建国され、その後、南朝の陳を滅ぼして中国の南北を統一しました。隋の初代皇帝・文帝(楊堅)は、いかにして建国したのでしょうか。また首都とした大興城の建設にはどのような意図があったのでしょうか。
11/16(土)	煬帝の即位 文帝の次男である楊広は、いかにして第2代皇帝・煬帝になったのでしょうか。大運河の建設や、たび重なる高句麗遠征など国家の拡大を目指した煬帝は、皇帝としてどのような功績をあげたのでしょうか。
12/ 7(土)	隋の滅亡と煬帝の評価 高句麗遠征の失敗を契機として、大きな負担への不満から各地で反乱がおこり、618年に煬帝は暗殺され、隋は滅亡します。中国史を代表する暴君といわれる煬帝ですが、その実像はどうだったのでしょうか。暴君・煬帝はどのようにつくられていったのでしょうか。